

I 五所神社 楠木power II 城 願 寺 柏槙power II 幕 山 幕岩power

なぜ<mark>湯河原</mark>が トリプルパワースポットなの…

湯河原は、古くから神聖なエネルギーが働いている場所と云われてきました。 鎌倉幕府を開くため、源頼朝は湯河原の領主の土肥実平とともに五所神社に戦勝祈願し、城願寺より出陣しました。残念ながら石橋山合戦で大軍に敗れて山中を逃げますが、そこで湯河原のパワーに助けられました。敵に捕らえられたり絶望から自害することもなく、危機を乗り越え房総へ逃れ、関東の武将をまとめて平家を打ち破ります。これは頼朝や実平の強運と湯河原パワーの相乗効果の奇跡と云われています。

歴史上、桶狭間の織田信長、上田城の真田親子、関ヶ原の徳川家康など、敗れるのが当たり前と思われる者が最終的には勝利を収めるということが起こります。この様なパワーを得られる場所が全国各地に存在し、その一つが湯河原なのです。

湯河原には富士山へ続く大地のエネルギーと神仏の大きなパワーが結集しており その現れが、楠木(くすのき)パワー・柏槙(びゃくしん)パワー・幕岩(まくいわ)パワーの三つで、「湯河原トリプル・パワースポット」と云われています。

全国地図製作の伊能忠敬測量隊も、城願寺と五所神社で地図の完成を祈り、成功させて世界的評価を得ています。日露戦争でも乃木希典大将やバルチック艦隊を破った東郷平八郎元帥など、多くの軍人が城願寺や五所神社に参拝し、パワーを得て勝利しました。また夏目漱石・芥川竜之介・与謝野晶子ら数え切れない文人たちが滞在し、この三つの場所を訪れてパワーを授かり名作を執筆できたのが、ここ湯河原なのです。